

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 四国財務局長

【提出日】 平成28年4月18日

【四半期会計期間】 第37期第1四半期(自平成27年12月21日至平成28年3月20日)

【会社名】 株式会社K G情報

【英訳名】 KG Intelligence CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 益田 武美

【本店の所在の場所】 香川県高松市今里町二丁目2番地10
(同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っております。)

【電話番号】 087(834)3821

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 三上 芳久

【最寄りの連絡場所】 岡山市北区辰巳20番地の113

【電話番号】 086(241)5522

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 三上 芳久

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第36期 第1四半期 連結累計期間	第37期 第1四半期 連結累計期間	第36期
会計期間	自 平成26年12月21日 至 平成27年3月20日	自 平成27年12月21日 至 平成28年3月20日	自 平成26年12月21日 至 平成27年12月20日
営業収益 (千円)	991,715	978,919	4,199,812
経常利益 (千円)	85,712	96,517	464,780
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	50,822	60,100	277,447
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	60,904	24,698	298,845
純資産額 (千円)	7,000,889	7,121,763	7,163,608
総資産額 (千円)	8,202,720	8,336,451	8,501,917
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	7.03	8.31	38.36
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	85.3	85.4	84.3

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 3 営業収益には、消費税等は含まれておりません。
- 4 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資が2四半期連続で増加するなどの好材料はあるものの、個人消費の落ち込み、輸出の減少等により景気の足踏みが長期化するなど、その先行きは不透明な状況にあります。

このような中、当社グループは各分野において既存事業の育成及び見直し、新規エリアへの進出等に取り組むと同時に、前連結会計年度に引き続き組織の見直しを実施する等により、一人当たり営業収益の改善や経費抑制による効率の向上に努めました。この結果、営業収益は9億7千8百万円（前年同期比1.3%減）となり、営業利益は9千2百万円（前年同期比12.7%増）、経常利益は9千6百万円（前年同期比12.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6千万円（前年同期比18.3%増）となりました。

なお、当社グループにおける報告セグメントは情報関連事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載は省略しております。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間の総資産は前連結会計年度から1億6千5百万円減少し、83億3千6百万円となりました。流動資産は前連結会計年度から8千7百万円減少し、55億1千7百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少額4千9百万円及び受取手形及び売掛金の減少額3千7百万円等によるものであります。固定資産は前連結会計年度から7千7百万円減少し、28億1千9百万円となりました。これは主に、減価償却等による有形固定資産の減少額2千万円及び投資その他の資産その他の減少額5千4百万円等によるものであります。

負債総額は前連結会計年度から1億2千3百万円減少し、12億1千4百万円となりました。流動負債は前連結会計年度から1億7百万円減少し、8億8千2百万円となりました。これは主に、未払金の減少額6千1百万円及び未払法人税等の減少額5千2百万円等によるものであります。固定負債は前連結会計年度から1千6百万円減少し、3億3千2百万円となりました。この主な要因は、その他の減少額1千7百万円によるものであります。

純資産は前連結会計年度から4千1百万円減少し、71億2千1百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の減少額6百万円及びその他有価証券評価差額金の減少額3千5百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は85.4%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	29,548,800
計	29,548,800

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成28年3月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成28年4月18日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,398,000	7,398,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります
計	7,398,000	7,398,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年3月20日		7,398,000		1,010,036		983,604

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年3月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 164,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,231,600	72,316	
単元未満株式	普通株式 1,500		
発行済株式総数	7,398,000		
総株主の議決権		72,316	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式 76株が含まれております。

2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年12月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成28年3月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社K G情報	香川県高松市今里町二丁目2-10	164,900		164,900	2.23
計		164,900		164,900	2.23

(注) 当第1四半期末日現在の自己株式数は、164,976株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成27年12月21日から平成28年3月20日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年12月21日から平成28年3月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,075,308	5,026,251
受取手形及び売掛金	488,162	450,492
製品	3,606	2,450
仕掛品	693	379
原材料及び貯蔵品	11,600	10,966
その他	28,505	29,399
貸倒引当金	3,021	2,750
流動資産合計	5,604,855	5,517,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	682,807	672,794
機械装置及び運搬具（純額）	161,434	152,552
土地	1,601,238	1,601,238
その他（純額）	21,160	19,090
有形固定資産合計	2,466,640	2,445,676
無形固定資産		
その他	34,687	32,874
無形固定資産合計	34,687	32,874
投資その他の資産		
その他（純額）	396,832	342,425
貸倒引当金	1,098	1,715
投資その他の資産合計	395,734	340,710
固定資産合計	2,897,062	2,819,260
資産合計	8,501,917	8,336,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,132	110,711
未払金	384,416	322,819
未払法人税等	92,604	39,625
前受金	303,891	315,038
賞与引当金	1,399	20,872
その他	84,208	73,440
流動負債合計	989,652	882,508
固定負債		
役員退職慰労引当金	210,101	210,101
退職給付に係る負債	62,774	63,326
資産除去債務	38,784	38,938
その他	36,996	19,814
固定負債合計	348,656	332,180
負債合計	1,338,309	1,214,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,010,036	1,010,036
資本剰余金	983,705	983,705
利益剰余金	5,130,980	5,124,537
自己株式	76,761	76,761
株主資本合計	7,047,960	7,041,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,647	80,246
その他の包括利益累計額合計	115,647	80,246
純資産合計	7,163,608	7,121,763
負債純資産合計	8,501,917	8,336,451

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月21日 至平成27年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月21日 至平成28年3月20日)
営業収益	991,715	978,919
営業原価	779,552	758,919
営業総利益	212,163	220,000
販売費及び一般管理費	130,190	127,637
営業利益	81,972	92,362
営業外収益		
受取利息	1,175	1,170
不動産賃貸料	1,342	2,169
前受金期間経過収入	578	1,286
古紙売却収入	1,698	1,513
その他	267	126
営業外収益合計	5,062	6,266
営業外費用		
不動産賃貸費用	892	893
敷金解約損	268	736
その他	161	482
営業外費用合計	1,322	2,111
経常利益	85,712	96,517
税金等調整前四半期純利益	85,712	96,517
法人税等	34,890	36,417
四半期純利益	50,822	60,100
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,822	60,100

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月21日 至平成27年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月21日 至平成28年3月20日)
四半期純利益	50,822	60,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,082	35,401
その他の包括利益合計	10,082	35,401
四半期包括利益	60,904	24,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,904	24,698
非支配株主に係る四半期包括利益		

【注記事項】

(会計方針の変更等)

当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月21日 至 平成28年3月20日)
「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月21日 至 平成28年3月20日)
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月21日 至 平成27年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月21日 至 平成28年3月20日)
減価償却費	29,030千円	23,580千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年12月21日 至 平成27年3月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年3月12日 定時株主総会	普通株式	78,116	10.80	平成26年12月20日	平成27年3月13日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額10.80円には、上場10周年記念配当5.00円を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年12月21日 至 平成28年3月20日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年3月15日 定時株主総会	普通株式	66,543	9.20	平成27年12月20日	平成28年3月16日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額9.20円には、創立35周年記念配当5.00円を含んでおります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年12月21日至平成27年3月20日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成27年12月21日至平成28年3月20日)

当社グループにおける報告セグメントは情報関連事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載は省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月21日 至平成27年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月21日 至平成28年3月20日)
1株当たり四半期純利益	7円03銭	8円31銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	50,822	60,100
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	50,822	60,100
普通株式の期中平均株式数(株)	7,233,024	7,233,024

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 4月13日

株式会社K G情報

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 朝 喜 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 宅 昇 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社K G情報の平成27年12月21日から平成28年12月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成27年12月21日から平成28年3月20日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年12月21日から平成28年3月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社K G情報及び連結子会社の平成28年3月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。